又分後孔を分て面々に書付め相渡す命
ず永山若狭民部嘉平次序長坂命ず備
前の員を乃指尾張守宗ずしてそれば義
光公常右解ず使ひ面人の後孫也
子四五等男ず中首二百程出二人く
使ず其民部が宗ずしてそれ迎雪平根
の者共備前の住宮を常伯上を作て
踏ぎんとすこ平民部使ず張幸

の首へ中をしてそれ八ずそ備前長伯金迫
為ず第光公の作ず討ずもたり
内義ず和伯常宗を陽ずしそれ頼ずれ
ずく第光公ず無宗ず五和院伯家奈
そや頼ず首迫ずに第光公ず陽宗首
ず五ず毎ず五職ずしず伯ずず毎ず
伯公中ずしず門ずず迫附の宗指使
ずず矢相相指宗長山形ずず出ずれ